

# 新型コロナウイルス感染症による 母子保健事業への影響について

三重県子ども・福祉部子育て支援課

# 調査概要

- 調査目的

新型コロナウイルス感染症拡大による県内市町の母子保健事業への影響等を調査し、その結果を市町に還元し、今後の参考とするため。

- 調査時期

令和3年10月から11月まで

- 調査対象

令和3年度事業

- 調査方法

県内市町の母子保健担当者へのメールによるアンケート調査

- 回答数

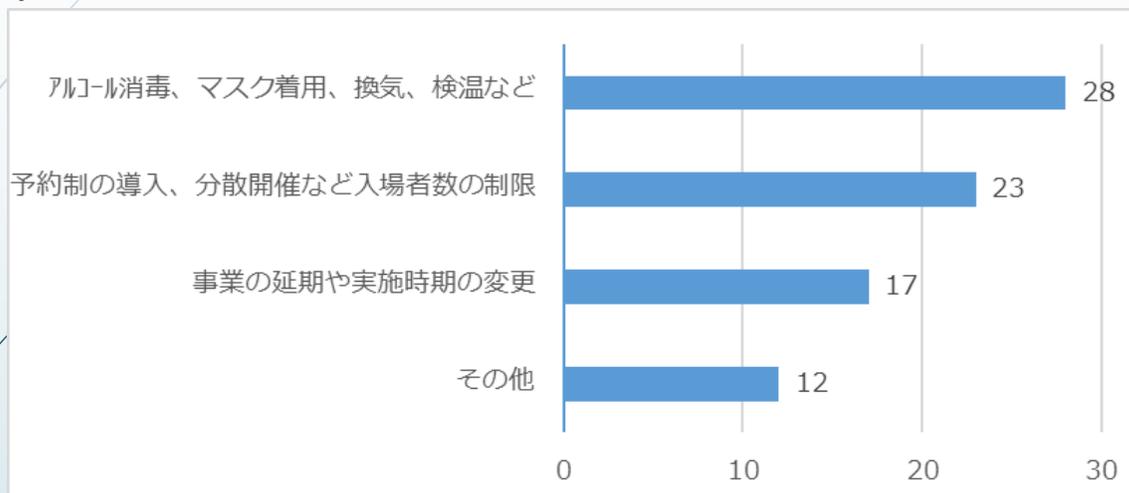
29市町

# 1 1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査

(1) すべての市町が「新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった」と回答。

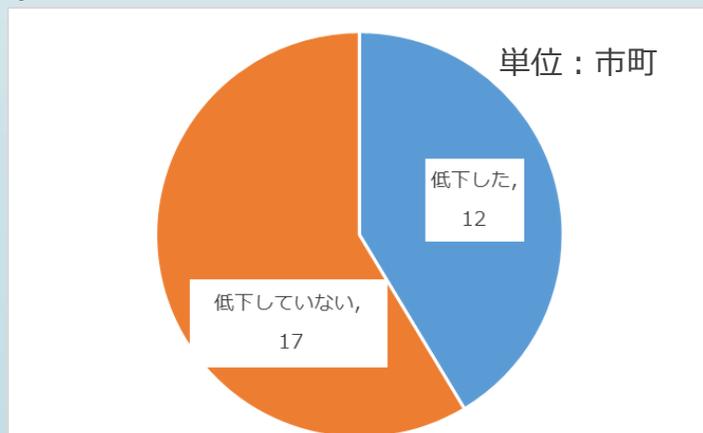
(2) 影響の内容

単位：市町（複数回答有）



- その他
- ・ 同伴者の人数制限
- ・ 集団遊び、読み聞かせの中止など

(3) 新型コロナウイルスの影響を受けて住民サービスが低下したか

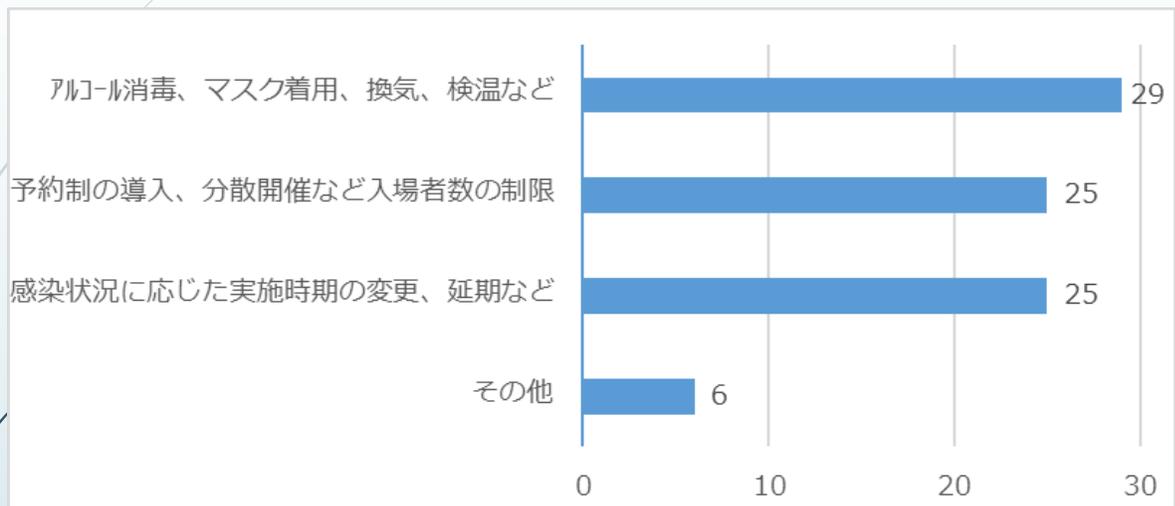


- 「低下した」理由：「対面時間を短縮せざるを得なかったことにより、十分な保健指導を行えなかった」など
- 「低下していない」理由：「必要な健診内容はすべて実施できた」「受診率には影響なかった」など
- コロナ対策を実施した結果、「少人数毎に受付時間をずらして案内したことで、待ち時間の短縮につながった。」と、改善につなげた市町もあった。
- 「対面での指導を中止した部分はYouTubeの番組を作成してそれに代えることできた」との工夫を実施している市町もあった。

# 1 1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査（続き）

## (4) 今後の対策

単位：市町（複数回答有）



### ● その他

- ・ 「会場レイアウトの変更、健診の流れの変更」
- ・ 「必要に応じてオンラインでの事業実施」 など

## (5) 今後の課題

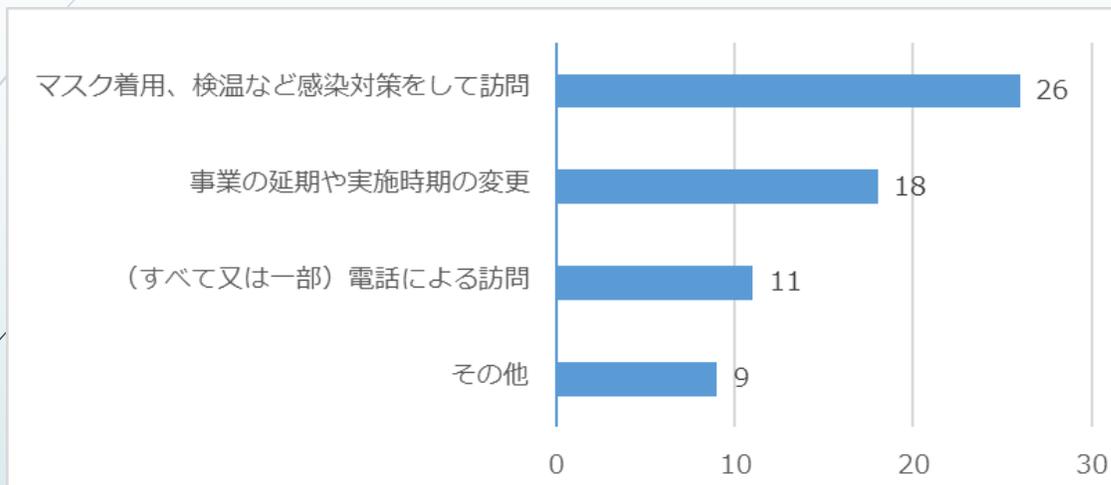
- 感染対策を実施しているが、対象者が多く、1回の受診者数の制限を設けることも困難で、感染対策をどこまでできるかが課題。
- 感染症対策のための経費の増大
- 保護者同士の交流時間の減少 など

## 2 乳児全戸訪問事業

(1) 26市町（約90%）が「新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった」と回答。

(2) 影響の内容

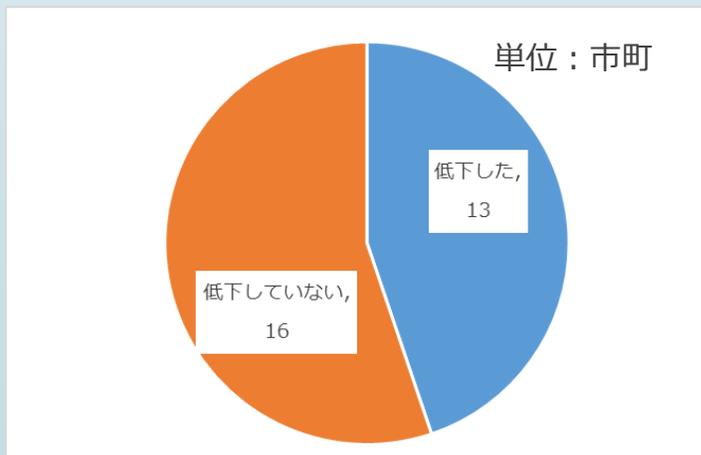
単位：市町（複数回答有）



●その他

- ・ オンライン相談を活用
- ・ 希望者のみ体重測定を実施し、短縮して実施 など

(3) 「新型コロナウイルスの影響を受け住民サービスが低下したか」

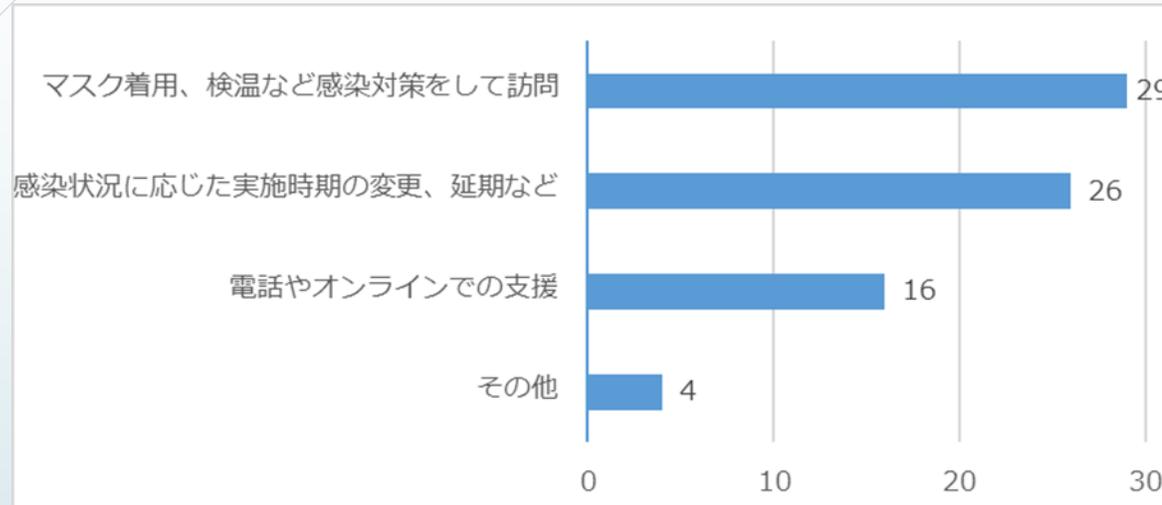


- 「低下した」理由：「電話だけでは把握しきれないところがある」「対面に比べ電話訪問は得られる情報が少ない」など
- 「低下していない」理由：「状況の把握ができているため」「延期等なく対象者全員に訪問できたから」など

## 2 乳児全戸訪問事業（続き）

### (4) 今後の対策

単位：市町（複数回答有）



● その他

- ・「緊急事態宣言時は電話やオンラインとし  
後日訪問」など

### (5) 今後の課題

- コロナを理由に訪問拒否された場合の対応方法
- コロナ禍による家庭状況の変化に応じた支援の方法 など

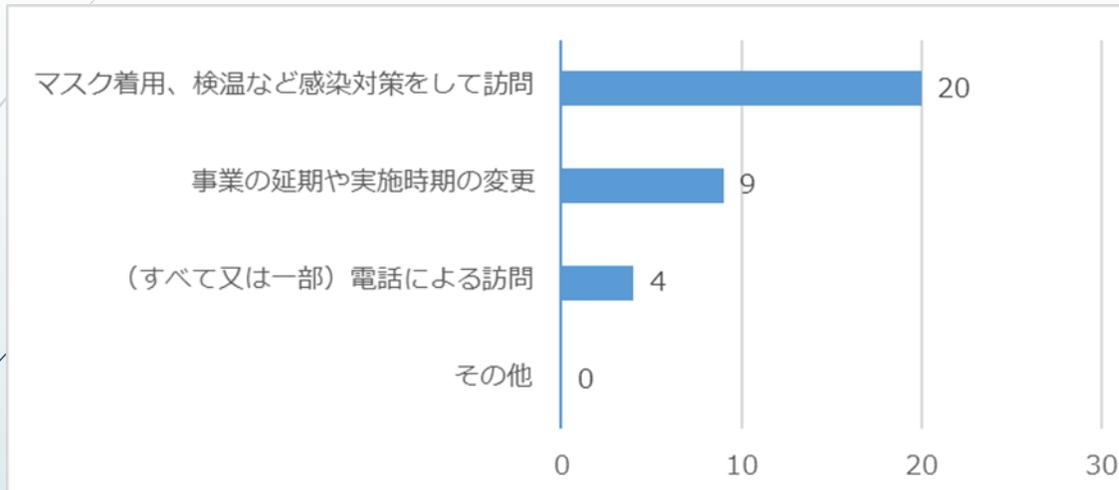
### 3 養育支援訪問事業

7

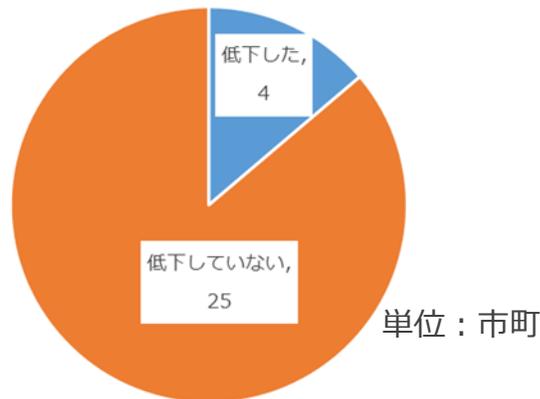
(1) 20市町（約69%）が「新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった」と回答。

(2) 影響の内容

単位：市町（複数回答有）



(3) 「新型コロナウイルスの影響を受け住民サービスが低下したか」

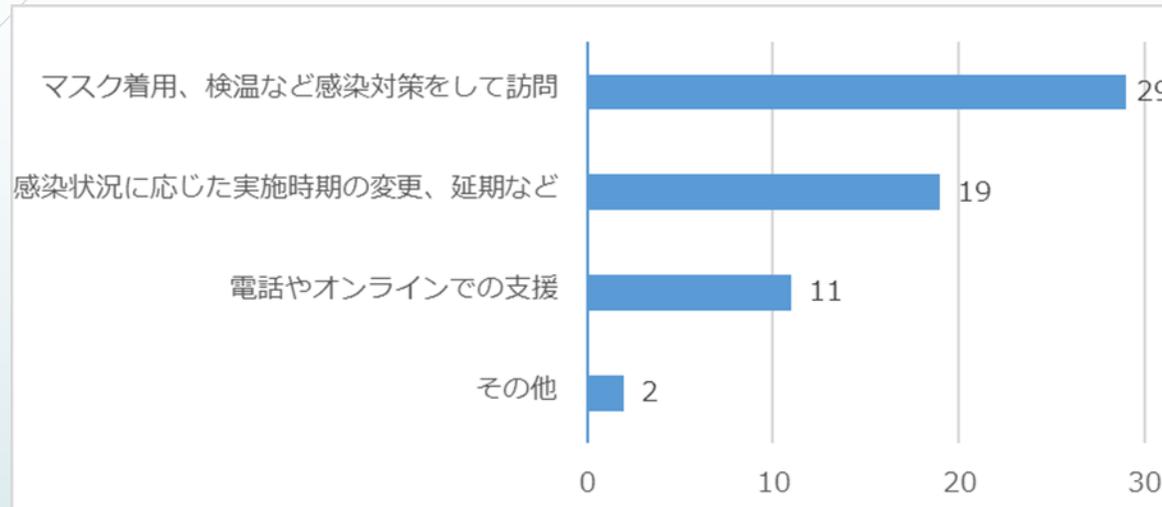


- 「低下した」理由：「訪問が制限されたことで、対象者とこれまでのような関係性を構築することが難しいと感じた。」「宣言中は緊急時以外の訪問を控え、電話等に対応した。」など
- 「低下していない」理由：「感染対策を講じた上で予定どおり訪問を実施できたため」など

### 3 養育支援訪問事業（続き）

#### (4) 今後の対策

単位：市町（複数回答有）



- その他
- ・「緊急事態宣言時は電話やオンラインとし  
後日訪問」など

#### (5) 今後の課題

- コロナを理由に訪問拒否されると、状況の把握が難しくなる
- 訪問時期の延期により、支援を必要とする人の早期発見が難しくなる など

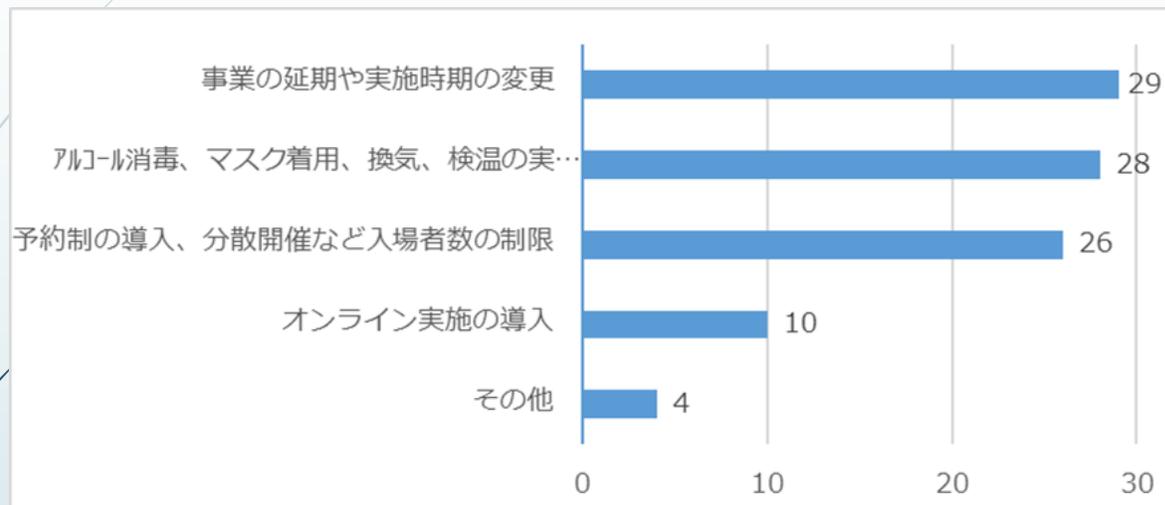
## 4 各種教室・講習会・サロン等

9

(1) すべての市町が「新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった」と回答。

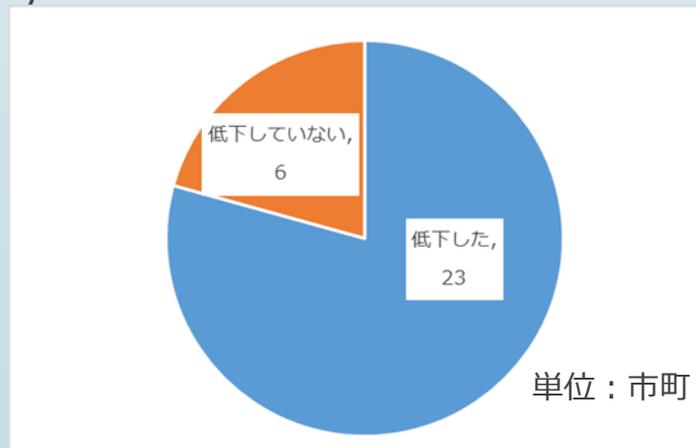
(2) 影響の内容

単位：市町 (複数回答有)



- その他
  - ・ 教室内容の変更
  - ・ 調理実習の中止など

(3) 「新型コロナウイルスの影響を受け住民サービスが低下したか」

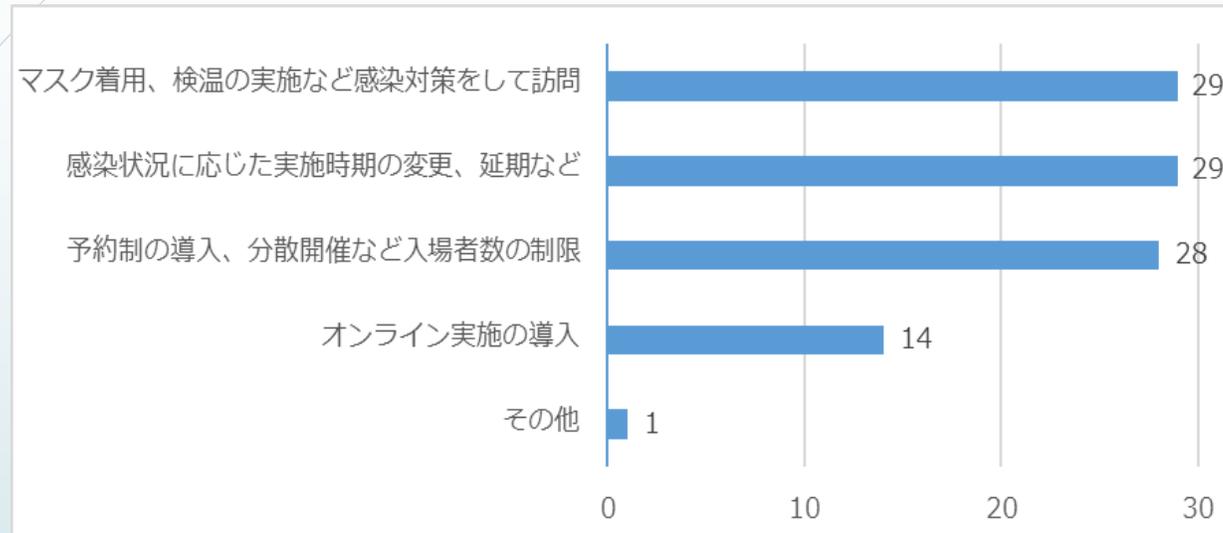


- 「低下した」理由：「緊急事態宣言中は事業を中止した」「本来の開催時期に開催できなかった」「交流の場や相談機会の減少」など
- 「低下していない」理由：「オンラインでの実施など振替開催ができた」「感染対策を行い実施できている」など

## 4 各種教室、講習会、サロン等（続き）

### (4) 今後の対策

単位：市町 （複数回答有）



● その他

・オンライン参加も可能とする方法を検討中

### (5) 今後の課題

- オンライン教室を実施するための職員の知識・技能の取得
- 感染対策を講じて実施できる広い空間がない など

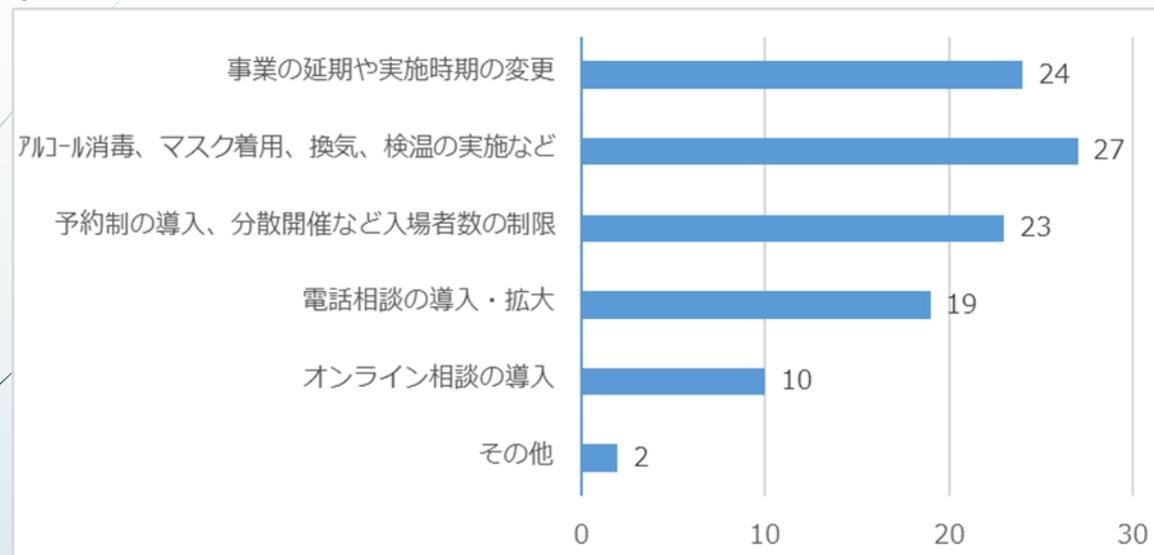
## 5 各種相談事業

11

(1) 27市町（約93%）が「新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった」と回答。

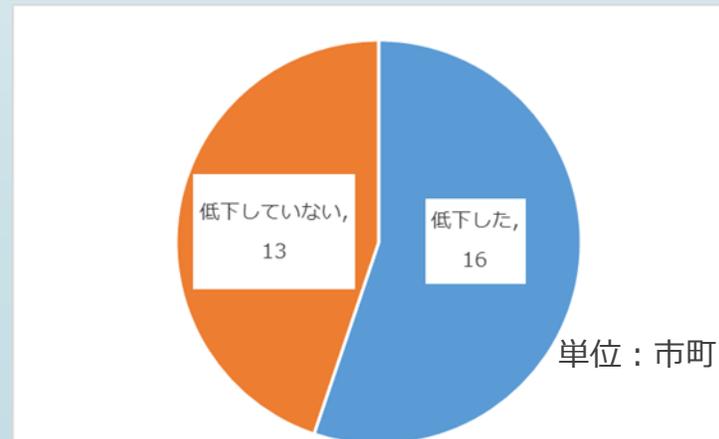
(2) 影響の内容

単位：市町（複数回答有）



- その他
- 集団相談中止し個別対応

(3) 「新型コロナウイルスの影響を受け住民サービスが低下したか」

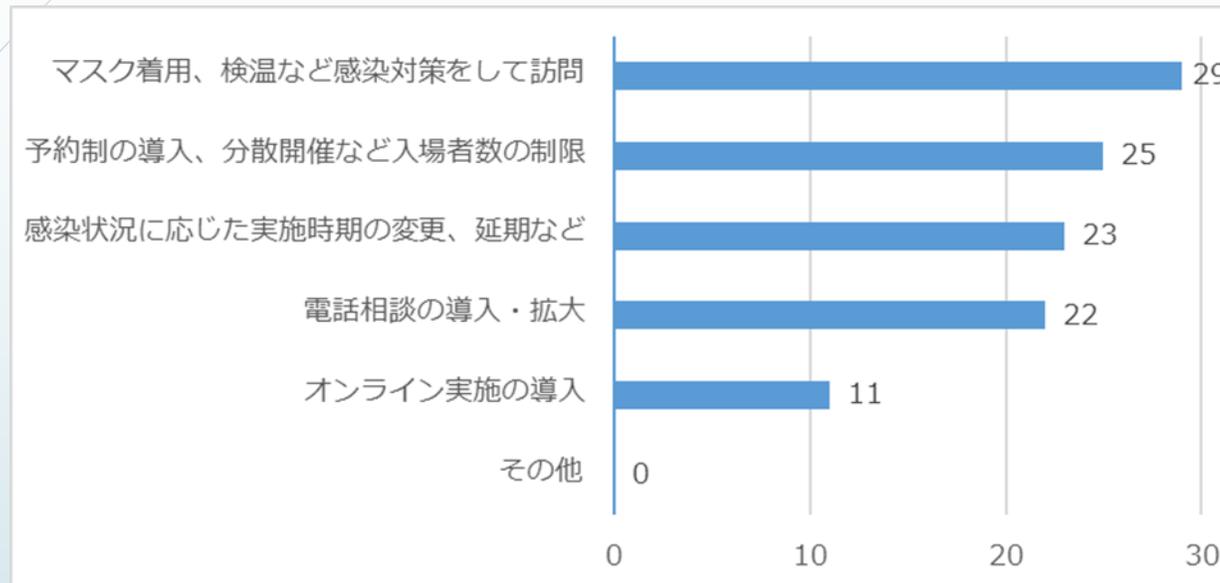


- 「低下した」理由：「相談の機会の減少」「オンライン相談を実施したが利用が少ない」など
- 「低下していない」理由：「来所や電話、訪問での個別対応は継続していた」「電話での相談を継続している」「感染対策をして実施できている」など

## 5 各種相談事業（続き）

### (4) 今後の対策

単位：市町 （複数回答有）



### (5) 今後の課題

- 対面でも安心して相談できる環境の提供
- 親同士の交流が難しく、育児を孤立化させない工夫が必要 など

## 令和2年度新型コロナによる事業への影響に関する調査結果

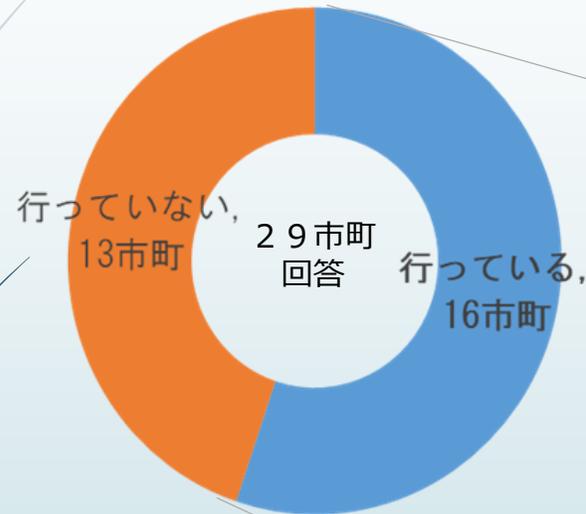
健診や各種教室などについて、全ての市町が「実施方法の変更や工夫あり」と回答。手指消毒、マスクの着用、入場者の検温、換気の徹底などの感染対策を行っていた。

事業名	昨年同時期と比較した事業の実施率	工夫点
1歳6か月児健診 3歳児健診	96.8% 95.5%	○予約制の導入、待合室を分散などで <b>入場者数を制限</b> ○ <b>時間帯を分けて実施</b> ▲健診は実施したが、同時開催を予定していた、 <b>講話やフッ素塗布、ブラッシング指導を中止した市町あり</b>
乳児全戸訪問事業 養育支援訪問事業	96.4% ほぼ100%	○ <b>事前に電話連絡し了承を得たうえで</b> 訪問支援を実施 ○乳児全戸訪問事業で訪問拒否の場合、電話で状況確認
各種教室	<b>64.8%</b>	○予約制の導入、時間帯の分割などで定員を制限 ▲離乳食教室の <b>試食会の中止などプログラムの変更</b>
各種講習会 養成講座	<b>77.2%</b>	○座席の間隔を空け、人数制限を設けて実施 ▲ <b>グループワークや飲食の中止などプログラムの変更</b>
各種相談事業	<b>40~100%</b> 市町により差あり	○事前予約制を導入し人数制限し実施 ▲代替手段として <b>電話で対応</b>

# 令和3年度母子保健事業のオンラインの活用状況に係る調査結果

令和3年9月時点で、**16市町**がオンラインを活用した母子保健事業（計**24事業**）を実施している。内訳としては、相談や教室に関するものが多い。

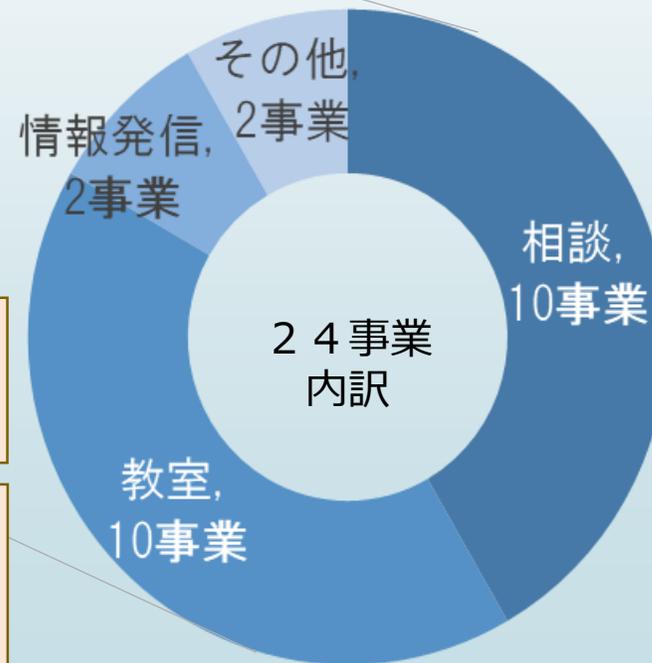
オンラインを活用した母子保健事業を実施していますか。



子育てに関するイベント情報や災害時などの緊急時の情報の配信

助産師、栄養士、保健師による講話、調理動画の配信、ストレッチ、参加者の情報交換・交流

県外での妊婦健診や産婦健診の費用助成について、申請に必要な書類を写真撮影しデータで送信することによっても受理する体制を整備



保健師、栄養士、歯科衛生士などによる、妊娠・出産・育児にかかる不安などの相談にビデオ通話などで対応